

## プロジェクトマネージャ 解答例

## 【午 後 I】

## 問 1 (配点 50 点)

設問 1 (12 点:(1)6 点, (2)6 点)

- (1) a : 拡張機能に対する保守費用の削減
- (2) b : システムのキャパシティに過不足がないか

設問 2 (19 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)7 点)

- (1) データ容量で変動する SaaS の運用保守費用を最小にするため
- (2) 役職コードのデータが現行営業支援システムの利用者データにはないから
- (3) サービス利用中に蓄積された登録データを失うリスク

設問 3 (19 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)7 点)

- (1) 要件定義以降の手戻りにより稼働開始が遅れるリスク
- (2) c : 営業部の担当者の日常業務で業務負荷が許容範囲に収まるか
- (3) サービスレベル過剰で費用負担を過度にさせないため

## 問 2 (配点 50 点)

設問 1 (12 点:(1)6 点, (2)6 点)

- (1) 設計限界品質という上限に近づける活動
- (2) 設計工程の欠陥が多く残っているのに、後工程でもそれらを摘出できない状況

設問 2 (12 点:(1)6 点, (2)6 点)

- (1) 修正に関連するすべての箇所のテストを最初からやり直す必要があるから
- (2) 混入工程ごとの総欠陥数

設問 3 (26 点:(1)6 点×2, (2)7 点, (3)7 点)

- (1) (イ) : 50.2 % (ロ) : 58.0 %
- (2) 欠陥の対処コストが低くて予防のコストの方が高いようなケース
- (3) a : プロジェクト群によって、新しい品質管理指標値に有意な差異があること

## 問 3 (配点 50 点)

設問 1 (20 点:(1)6 点, (2)7 点, (3)7 点)

- (1) 役割や影響度などの特性を考慮した適切な会議体を決めるため
- (2) P 社社長への報告漏れやプロジェクトの進捗や課題対応の認識にずれが生じること
- (3) 利用部門の責任者として S 部長の見識、経験に基づく支援が必要だから

設問 2 (12 点:(1)5 点, (2)7 点)

- (1) a : A 社社長
- (2) 最先端の CRM システムを導入しても売上げは上がらないという考えを改めさせること

設問 3(18 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)6 点)

- (1) b : プロジェクト管理の重要性
- (2) 今回規定したプロジェクト管理ルールを X 社全社へ展開, 啓蒙していく。
- (3) 設計工程の顧客レビュー会議に X 社の担当者も参加させる。

以上